

# 3

---

## 社会の 学習指導

---

(社会科教員調査)

---

## ■【データ】授業の進め方について

1年・2年ともにパイ型が圧倒的。パイ型の中では「1ヶ月や1単元の区切りごとに地理・歴史を交互に行う」が多数を占める。

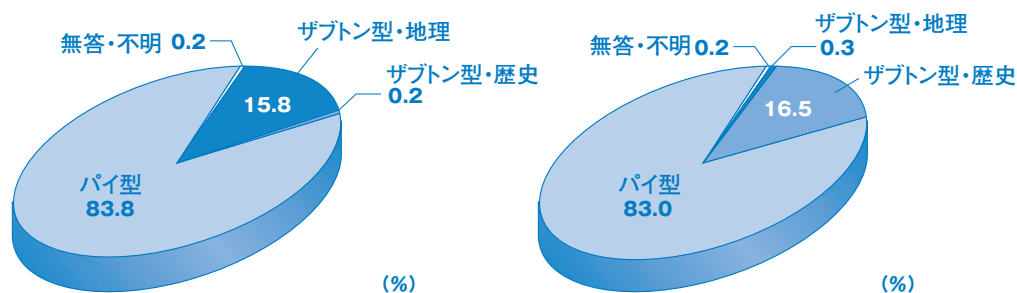
Q

中学1年生（中学2年生）では、どのように授業を進められるご予定ですか。

■図3-1 授業の進め方について

●1年生

●2年生



※「パイ型」＝ $\pi$ の記号のように、地理と歴史を1年間のうちにもとに学習し、3年生になって公民を扱う指導法。「ザブトン型」＝座布団を重ねるように、学年によって1年間地理または歴史のどちらか一方のみを学習し、3年生になって公民を扱う指導法。

SQ

「地理と歴史を両方扱う」に○をつけた場合だけ、お答えください。地理と歴史をどちらも授業で扱われるということですが、具体的にはどのようにされる予定ですか。

■表3-1 授業の進め方について

|                           | (%)  |      |
|---------------------------|------|------|
|                           | 1年生  | 2年生  |
| 1週間の授業時間で地理・歴史をどちらも行う     | 5.8  | 5.9  |
| 1～2週間ごとに、地理・歴史を交互に行う      | 0.5  | 0.4  |
| 1ヶ月や1単元の区切りごとに地理・歴史を交互に行う | 66.0 | 66.2 |
| 定期テストごとに、地理・歴史を入れ替えて行う    | 10.1 | 10.2 |
| 学期ごとに、地理・歴史を入れ替えて行う       | 2.7  | 2.6  |
| 1年を前半後半に分けて、地理・歴史を交互に行う   | 14.9 | 14.7 |

1年生、2年生ともパイ型が8割程度となっている。1年生では、ザブトン型地理、2年生ではザブトン型歴史が続き、それぞれ約15～16%であった。パイ型の指導をしている教員にのみたずねた「地理と歴史をどのように指導するか」という設問では、「1ヶ月や1単元の区切りごとに地理・歴史を交互に行う」がおよそ3分の2を占めている。前回調査と同様、この学習指導を行う学校が多数であることが確かめられた。